

令和8年度 学校経営計画書

学校番号	70	学校名	県立浜松北高等学校	校長名	飯田 寛志
------	----	-----	-----------	-----	-------

1 スクール・ミッション

「自主独立」の精神のもと、向学心と向上心にあふれる仲間と切磋琢磨する学校として、授業や学校行事、部活動、キャリア教育や異文化理解教育等の全教育活動を通して、広く世界的視野に立って人類の発展に貢献し得る「逞しい人材」の育成を目指す。

2 目指す学校像

(1) スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
次の資質・能力を育成する。 ① 豊かな人間性（知性・感性） ② 幅広い教養 ③ 国際感覚 ④ 規範意識とマナー ⑤ 人権尊重の精神 ⑥ 高い自己管理能力 ⑦ 社会性・公共性 ⑧ 発想力や創造力 ⑨ 企画・調整力 ⑩ リーダー性と協調性	左記の資質・能力を育成するため、次の教育活動を行う。 ① 学問と知性を愛する豊かなところを基盤として、心身の調和的発達を図り、人類の発展に貢献できる人間を育成する。 ② 授業や学校行事、部活動、キャリア教育や異文化理解教育等、全教育活動を通して、個々の資質・能力を磨く。 ③ 県教育委員会の事業等も最大限に活用しつつ、科学の甲子園、模擬裁判選手権、海外短期留学等に積極的に挑戦できる環境を整える。	左記の教育活動を行うため、次の生徒を受け入れる。 ① 夢や志の実現に向け、向学心と向上心を持って粘り強く努力できる生徒 ② 学習のみならず学校行事、部活動及び生徒会活動等に積極的に取り組むことができる生徒 ③ 校外の活動（科学の甲子園、模擬裁判選手権、医療人材育成に向けたプログラム等）や海外短期留学等に積極的に参加し、自己の可能性を高めることができる生徒

(2) スクール・ポリシー具現化の柱

- ア 基本的な生活習慣の確立と自己管理能力の育成、心身の健康保持増進、規範意識・マナー・豊かな人間性の醸成
- イ 確かな学力と幅広い教養を育む学習指導の充実
- ウ 高い志と自主独立の精神に基づく自己実現を支援する進路指導の充実
- エ 発想力・創造力、企画・調整力、リーダー性・協調性、国際感覚等を育成するための教育活動の提供
- オ 家庭や地域等との連携を基盤とした社会性・公共性の育成と信頼される学校づくり・開かれた学校づくりの推進
- カ 人権尊重の精神の醸成と安全・安心な学校づくりにつながる学習環境の整備・充実
- キ コンプライアンスの徹底、業務の効率化と業務量縮減及び職員の健康維持・増進

様式第1号

3 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	基本的生活習慣の確立と自己管理能力の育成、心身の健康保持増進、規範意識・マナー・豊かな人間性の醸成	<ul style="list-style-type: none"> ・元気で清々しい挨拶にあふれる学校の構築 ・清潔で端正な服装の徹底 ・清掃の徹底による生活環境の整備 ・ノーチャイム制による時間の自己管理 	<ul style="list-style-type: none"> ・日ごろから気持ちの良い挨拶ができていると答える生徒 90%以上※ ・清潔で端正な服装をするよう心がけていると答える生徒 90%以上※ ・日々の清掃に真剣に取り組むなど、生活環境の整備に努めていると答える生徒 90%以上※ ・授業の開始や集合時間等、時間を守ることができていると答える生徒 90%以上※ 	生徒指導 教務 保健指導 各学年
		<ul style="list-style-type: none"> ・心身の健康に対する意識の高揚 ・心身の健康状態の確実な把握と適切な対応 ・悩みを抱える生徒の早期発見と相談体制の充実(スクールカウンセラー等の積極的な活用) 	<ul style="list-style-type: none"> ・保健だよりの発行 年10回 ・相談室だよりの発行 年3回 ・個人面談の実施 年3回以上 ・頼れる教員がいる生徒 90%以上※ 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会活動、ホーム・ルーム活動、部活動等の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動に意欲的に取り組んでいると答える生徒 加入生徒の90%以上※ ・学校行事に意欲的に取り組んでいると答える生徒 90%以上※ 	生徒指導 教務 保健指導 図書研修 各学年
		<ul style="list-style-type: none"> ・読書活動の推進と読書習慣の確立 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館だより「Book Cover」の発行 年6回 ・新刊図書の紹介を年6回以上行う。 	
イ	確かな学力と幅広い教養を育む学習指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・知識の理解の質を高めることによる確かな学力の育成 ・主体的・対話的で深い学びの実践（ICT機器（1人1台端末）、新聞、図書等の有効活用） ・適切な質と量を備えた課題の提供等による家庭学習習慣の確立 	<ul style="list-style-type: none"> ・学力が向上する授業が行われていると答える生徒 90%以上※ ・勉学に意欲的に取り組んでいると答える生徒 90%以上※ ・課題、小テストの量は適切であると答える生徒 80%以上 ・家庭学習時間の平均 平日150分以上 	進路指導 教務 図書研修 各教科
		<ul style="list-style-type: none"> ・授業改善のための校内研修（授業参観、研究授業、授業アンケートの実施等）の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業見学週間の実施 年2回 	

様式第1号

		・教育課程の充実と観点別学習状況の評価の定着	・教育課程検討委員会の開催 年2回以上	
ウ	高い志と自主独立の精神に基づく自己実現を支援する進路指導の充実	・初期指導の充実	・将来に対する夢や目標を持っていると答える生徒 80%以上※	進路指導 教務 図書研修 各学年 各教科
		・進路指導の充実（先輩講話、大学出張講義、模擬試験、実力テスト等の適切な実施）	・志や進路目標の実現に向けて自主的に取り組む姿勢を育てていると答える生徒 90%以上※	
エ	発想力・創造力、企画・調整力、リーダー性・協調性、国際感覚等を育成するための教育活動の提供	・進路目標に応じた指導の工夫と実践（大学入試問題研究や入試結果分析などを含む。）	・進路指導に関する研修会の開催 年4回以上	総務 生徒指導 教務 保健指導 各学年 各教科
		・課外補講等における講習の質の向上と参加促進	・進路指導が適切に行われていると答える生徒 90%以上※	
		・学校行事等への参加促進	・学校行事はこれから求められることとなる力を育てるものとなっていると答える生徒 90%以上※	
エ		・探究的な学びや協働的な学び、国際的な学びの深化を促進する機会の提供	・「科学の甲子園」「模擬裁判」「スピーチコンテスト」等の大会などに参加する生徒 延べ100人以上	国際科 各学年
		【国際科】 ・異文化理解の促進及び英語運用能力の育成（校外学修等の適切な実施）	・校外学修及びオクトーバープロジェクトの満足度 参加生徒を対象として90%以上	
オ	家庭や地域等との連携を基盤とした社会性・公共性の育成と信頼される学校づくり・開かれた学校づくりの推進	・家庭との連携強化	・PTA総会の保護者参加率 60%以上	総務 教務 生徒指導
		・PTAだよりや学校HP等による広報活動の充実	・家庭への連絡や情報提供が適切に行われていると答える保護者 80%以上※	
		・中学生の一日体験入学や公開授業の効果的な実施	・一日体験入学の参加中学生 700人以上	
		・社会貢献活動等への積極的な参加促進	・社会貢献活動等に参加するなどして、地域社会に貢献しようとしていると答える生徒 60%以上※	
カ	人権尊重の精神の醸成と安全・安心な学校づくりにつながる学習環境の整備・充実	・学校運営協議会制度の適切な運営	・協議会の開催 年3回	管理職
		・人権意識の啓発といじめ・体罰・セクハラの根絶	・いじめや体罰等に関する指導案件なし	生徒指導 保健指導 総務
		・交通安全意識の啓発と交通事故・事犯の撲滅	・街頭指導等の実施 年2回 ・交通事故件数 前年比減	
カ		・防災訓練や防災講話による防災意識の高揚	・防災訓練の実施 年2回 ・健康や安全等に関する指導が適切に行われていると答える保護者 90%以上※	

様式第 1 号

		<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の安全管理意識の高揚 ・校内施設・設備、備品・消耗品等の整備・点検 	<ul style="list-style-type: none"> ・AED講習会や熱中症予防講座の実施 ・教育環境の整備が適切に行われていると答える保護者80%以上※ 	保健指導事務
キ	コンプライアンスの徹底、業務の効率化と業務量縮減及び職員の健康維持・増進	<ul style="list-style-type: none"> ・コンプライアンス研修の適切な実施 ・適正な事務処理 	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の不祥事なし ・監査・検査における指摘事項なし 	管理職事務全職員
		<ul style="list-style-type: none"> ・業務の精選と効率化 ・休暇取得の促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・時間外在校等時間の前年比減 ・夏季休暇取得率 100% ・完全退庁時刻に退庁する職員 80% 	

※は「学校生活によるアンケート」による。